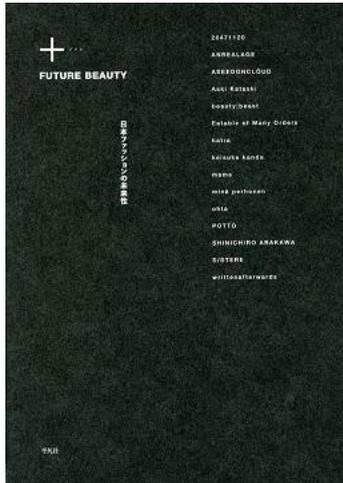


+ Future Beauty: 日本ファッションの未来性



©平凡社

版型：B5版 56頁、うちカラー46頁

監修：深井晃子（京都服飾文化研究財団）

編集：石関亮（京都服飾文化研究財団）

蘆田裕史（京都服飾文化研究財団）

出版：平凡社 2012年

ISBN：978-4-582-62055-9

価格：本体1,000円+税

*所属は当時

目次

<はじめに>

<展覧会「Future Beauty 日本ファッションの未来性」出展ブランド>

20471120、ANREALAGE、ASEEDONCLÖUD インタビュー、Aski Kataski、
beauty:beast、Eatable of Many Orders、hatra インタビュー、keisuke kanda、
mame、minä perhonen、ohta、POTTO、SHINICHIRO ARAKAWA、S/STERE、
writtenafterwards

<謝辞>

2012年、東京都現代美術館とKCIの共催により開催された「Future Beauty 日本ファッションの未来性」展。KCIのコレクションを中心に、20世紀後期に世界を注目させ、現代ファッションを先導したデザイナーから、ゼロ年代の新たな感性を持った若手デザイナーまで、「日本ファッション」が持つ創造性とその力強いデザインに潜む文化的背景に焦点を当てました。

本展は、京都服飾文化研究財団（KCI）とバービカン・アート・ギャラリー（ロンドン）が共催した「Future Beauty: 30 Years of Japanese Fashion」展（2010年）を土台として、今後の方向性を示唆する若手ファッション・デザイナーの作品を中心に展覧を加え、新たに開催したものです。

本書は、東京で展覧を加えた13のブランドについて、各ブランドの写真をおりこみながら解説しています。現在、そして未来に向かって育まれていくファッションの物語を「+（プラス）」する役割を担っています。